

PCB 分析前処理装置(ラピアナ 209) 簡易操作マニュアル①

※商品の取扱方法については取扱説明書をご参照ください

装置の主電源をオン

装置のウォームアップ

ウォームアップボタンを押す
(約3分でウォームアップ完了)

●完了すると、ウォームアップボタンが点滅します



ヘキサン送液準備

◆ ヘキサンタンクにヘキサン 20mL 注入する

精製カラムへの試料添加

◆ 添加溶媒はヘキサンを使用

◆ カラムへの添加量は、試料・洗い込み量を含めて 3mL 以内

※試料添加～ヘキサン送液(黄色工程)はできるだけ速やかに行ってください！

※抽出液をエバポレータで濃縮する際、液量が 2mL よりも少なくなると、低塩素化 PCB の損失を招く可能性があります
キーパーとしてデカンを適量(100 μ L 程度)添加してから濃縮を行って頂くと損失の抑制効果があります

カラムの設置

※精製カラムは加熱しないでください！

◆ 濃縮カラム開封後、充填物が上になるように精製カラムに接続し、固定板にカラムをセットする

◆ 固定板の未使用部分に精製カラム型プラグを装着する

向きに注意
黒を下にする

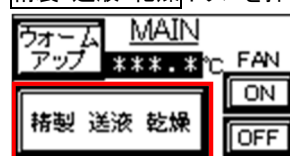
ヘキサン送液(約 20 分)

◆ 送液時に漏れをチェック

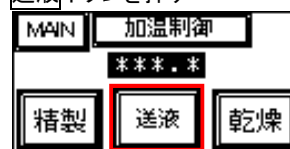
※装置のヘキサン送液時間は「10 分」で設定されています。1 回目の 10 分が完了したら、再度送液 10 分を開始してください

◆ 終了前に濃縮カラム下端をヘキサン洗浄

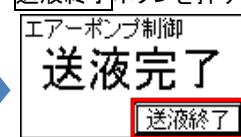
精製 送液 乾燥ボタンを押す



送液ボタンを押す



送液終了ボタンを押す



プザー

裏へ続く

PCB 分析前処理装置(ラピアナ 209) 簡易操作マニュアル②

濃縮カラム乾燥準備

- ◆ 濃縮カラムを充填物が下になるようにヒーターへセット
- ◆ 濃縮カラムに乾燥ホースを装着
(未使用部分は乾燥ホース台でプラグ)



濃縮カラム乾燥(10 分)

- ◆ 濃縮カラムが乾燥していることを確認

バイアルの秤量

- ◆ 溶出液を定容しない場合に実施

リザーバーチューブを装着

- ◆ テフロン製のチューブ
(内径 6mm、長さ 40mm程度)

バイアルのセット

トルエン 1.2mL 添加

溶出(自然滴下で約 15 分)

※添加して 10 分程度経過後トルエンの染み込みを確認してください。
トルエンがカラム途中で止まっている場合は、スポイトでゆっくり 1cm 程度押し出して下さい

スポイトで押し出し

※リザーバーチューブを外してください

- ◆ トルエン溶出量 約 600~800 μ L

バイアルの秤量

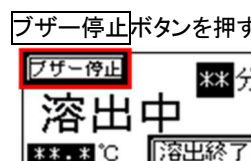
- ◆ 溶出液を定容しない場合に実施

- ◆ 前後の重量差がトルエンの重量になり、密度からトルエンの体積を算出

乾燥ボタンを押す



ブザー



溶出を終えたら溶出終了ボタンを押す

